

# 合併処理浄化槽の正しい使い方

どんなに優れた機能を持った浄化槽でも、使い方を間違えたり、きちんと手入れをしなければ、水をきれいにする力が弱まります。日頃の管理や使い方は特に大事なことです。

## 1 水の無駄遣いはやめましょう。

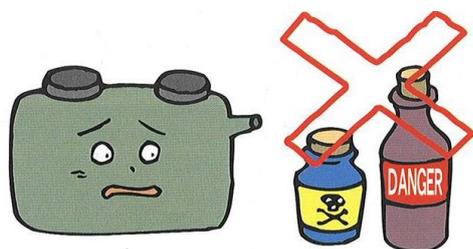
1人が1日に使う水の量は200～2500が目安です。

水の使いすぎは、処理水の水質が悪くなったり、清掃回数が増えるおそれがあります。



## 2 便器の掃除には、塩酸・硝酸などの劇物を使わないでください。

浄化槽のなかで働く微生物が死んだり弱ったりして機能が失われることがあります。



## 3 トイレでは水溶性のトイレトーパーを使用してください。

ティッシュペーパーや紙おむつ、たばこの吸い殻などは、パイプ詰まりや浄化処理の障害の原因となりますので、絶対に流さないでください。



**4** 野菜くずや天ぷら油などは、流さないでください。

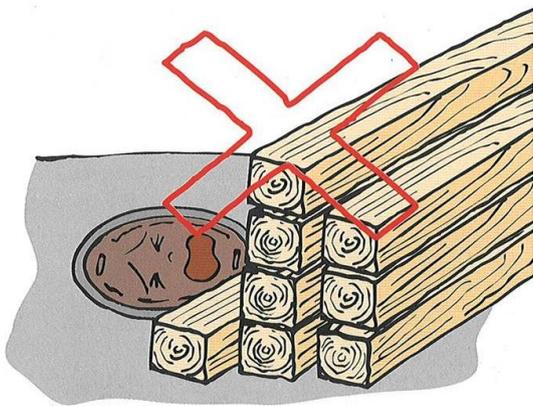
使用済みの天ぷら油は、できるだけリサイクルしてください。スーパーなどの回収ボックスを利用することで、燃料やせっけんなどにリサイクルされます。

もし油を捨てる場合は、布や紙に含ませるか、凝固剤で固めて処理してください。



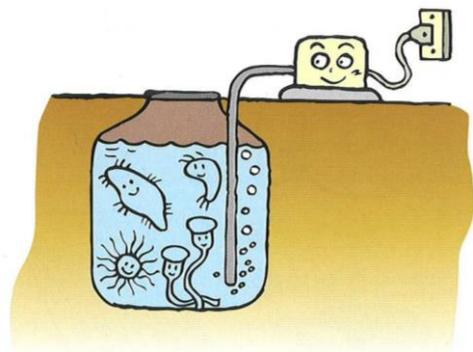
**5** 浄化槽の上にもものを置かないでください。

マンホールの蓋は必ず閉めておきましょう。



**6** 浄化槽の電源は切らないようにしてください。

また、ブロワーの空気取り入れ口はふさがないようにしてください。浄化槽内の微生物が活動できなくなります。



**7** 消毒剤の補充を忘れずに、いつも消毒されているようにしてください。

